

# 2022年敬老会



9月15日、潮寿荘では敬老会を開催しました。入居者の半数（24名）は90歳以上なので、舞台に上がったのは百歳以上と米寿、白寿の方の7名でした。施設長から一人一人にお祝いの色紙を渡した後は、101歳、キヨさんの乾杯で会食がスタート。

赤飯、太巻き、エビフライ、白身魚のフライ、紅白なます、ミモザサラダ、すまし汁、ショコラムース。めでたくて皆さまの好きなメニューを残さずおいしそういただきました。



会食の後は職員のアトラクション。まずは二人の陳さんによるピアノと歌の演奏。『吟の童の背に乗つて』と『大きな古時計』たいへん緊張していたみたいだけど衣装を替えながら歌い上げました。次は潮寿荘のアイドルダンサーズと「潮さぶちゃん」です。最初は音響が繋がらず音楽なしでの踊りでしたが、後半は音響も復活し、爆笑の渦に包まれていました。次はメイン、佐久間看護師のもう一つの顔『山口太百恵』と、何とプロのギタリスト、ファイナルファンタジーXIVのオフィシャルバンド「ザ・プライマルス」のギタリスト「グンちゃん」のライブです。

山口太百恵さんが歌うのは「いい日立ちち」ならぬ最後の日々を楽しく過ごそうという歌詞の「いいし旅立ち」。続いてグンちゃんの弾き語り。

みなさん、まさかの本格的パフォーマンスに感動。静子さんは涙を流し、職員は緊張しながら興奮し、あとからサインを頂いていました。

次は恒例、施設長と内村介護士の口による南京玉すだれ。最後はみんなで炭坑節を歌つて敬老会が終了しました。

楽しく敬老会を過ごせたことがなによりと思った介護士、幸太郎でした。来年も皆様と長寿のお祝いをしたいです。

(週に5回は外で、さらに家でも食べる超ラーメン好き介護士・庄司) 敬老会の様子はブログからどうぞ。



# 川島節子 91歳

令和4年10月15日発行  
発行：特別養護老人ホーム  
潮寿荘  
記事：9・10月担当潮寿荘職員  
編集：潮寿荘だより編集委員  
題字：川島節子（91歳）



秋の風物詩の一つ十五夜。今年は九月十日が十五夜です。この十五夜の月は満ち欠け周期の関係で毎年が必ずしもフルの丸い満月の日とは限らず、1~2日ずれている年もあります。さて今年の十五夜は結構あるとか。さて今年の十五夜は…：ジャーンきしくもフル満月の年でした。そんなフル満月の日に行われた潮寿荘の十五夜。ホールの窓辺にはススキ・月見団子・さつま芋・トウモロコシの供え物。その前に集まつた利用者の皆さん。施設長のご挨拶に続いて行われた職員や利用者さんが作った十五夜に因んだ俳句の披露。その中の一つ沖本相談員の詠んだ一句は

**【十五夜の後の楽しみ食べること】**  
コメントは差し控えます。続いて利用者の川合さんの詠んだ一句。

**【お月様眺めていたい秋の夜】**

さすがです！どことなく品があると言いますか、実際に趣深い見事な一句です！さてしみじみと俳句を鑑賞

した後は童謡の「月」や「うさぎ」民謡の「炭坑節」など十五夜や月に因んだ唄を皆さんと一緒に歌いました。うさぎ♪うさぎ♪なにみてはうねうるうめ皆さんの元気な歌い声がホールに響き渡ります。



おせか↑  
お地蔵様も…

という事で俳句をしみじみ鑑賞して皆さんのが自慢の喉を披露して今年の十五夜は御開き・ではありません。誰かが言った【後の楽しみ食べるこ】この後の夕食に添えられたのはお供え物の月見団子やさつま芋やトウモロコシ。秋の味覚に皆さんほっこりにつこり。十五夜と共に食欲の秋まで堪能した利用者さん。今年の月のように利用者さんの笑顔もフル満月になつた十五夜の夜なのでした。

(ホットケーキとパンケーキの違いを知りたい介護士・内村)



8月11日、午後6時半頃、夜の避難訓練が行われました。いつも通りに夕食を召し上がり、殆どの利用者様がいつも通りにベッドに横になられました。そこに「火事です。火事です」とのアナウンスとサイレンが響きます。すぐに夜勤役の副主任が消火器を持って「火事だ!!」と廊下をダッシュします。すごい勢いです。

しかしここで痛恨のミスです。火事発生場所のボイラーハウスではなく反対側の洗濯場の方へ走ってしまったのです。みんなで「そっちじゃないよ」と声を掛けると、さつきよりも早いスピードでボイラーハウスへ向かつて走つて行きました。

そこから夜勤係の孝樹介護士と石岡介護士とで端の部屋から利用者様を避難させます。普段、移譲リフトやボードを使って入居者様も二人介助で起こしていきます。全て人力です。これは大変です。職員技です。腰にきます。新人の私にはとてもそんなマネはできません。

## 夜間避難訓練



途中から職員アパートのスタッフが応援に来る予定ですが、それよりも早いスピードでどんどん入居者様を避難させていました。かっこいいです。二人共スーパーマン見えました。天気が悪かったので避難先は食堂。全員が避難し終えると自然に拍手が湧き上がっていました。

（内村介護士）

